

令和 6 年 7 月 13 日
＜JARL 渡島檜山支部 佐々木 朗＞

145MHz におけるロールコールの実施について

0 経過

ローカル局 O さんからの提案を受け、実施された事業であり、平成 31 年 2 月 2 日が初回となる。毎月第 1 土曜日の午後 8 時、145MHzFM で行ってきた。7 月で定例ロールコールは 66 回目となる計算である。そのほかに大晦日年越しスペシャルロールコールなどもあった。

1 目的

- (1)ロールコールを通して、JARL 渡島檜山支部会員の交流を図るとともに、アマチュア無線のアクティビィーを高める一助とする。
- (2)自分の無線機の調整をする機会とする。
- (3)通信技術の向上を図る。

2 主催 JARL 渡島檜山支部

3 日時 毎週第一土曜日午後 8 時より

諸行事があっても、原則この時間を動かさない。

4 参加対象 アマチュア局（支部管内管外、JARL 会員の有無は問わない）

5 会員への周知

- (1)JN による
- (2)OHB による
- (3)無線による
前日、当日に、アナウンスをする。
- (4)ハムショップの掲示
- (5)支部 HP

6 キー局

役員が中心になろうかと思うが、広く、参加者で回して、経験していただきたい。おおよその市内が聞こえればハンディ局でのキー局もありとしたい。

7 内容

- (1)チェックイン
- (2)支部長挨拶、連絡
- (3)皆さんからの連絡
- (4)時間があれば、一人ずつ近況報告
- (5)ファイナルコール

8 流れ

(1) 呼出

- ・「CQ CQ CQ こちらはJ〇8〇〇〇。これより、145.〇〇にて、JARL 渡島 桧山支部 2 mFM ロールコールを開催致します。このロールコールは、JARL 会員、非会員、管内、管外 関係なくご参加頂けます。チェックインでの QSO では、コールサイン、RS レポートをいただきます。是非、お気軽にご参加下さい。こちらは、キー局、J〇8〇〇〇 北斗市 〇〇です。宜しく、お願い致します。 次回、145.〇〇にて、再度コール致します。」

(2)参加者受付

- ・「CQ CQ CQ こちらはJ〇8〇〇〇。これより、JARL 渡島桧山支部 2 mFM ロールコールを開催致します。参加局を受け付けます。どうぞ。」
- ・「相手局、こちらは、J〇8〇〇〇 59 です。よろしくお願いします。どうぞ。」レポートをもらう。「ほかいらっしゃいますか、こちらは、J〇8〇〇〇どうぞ。」以下繰り返す。途切れたところで、
- ・各局、こちらは、J〇8〇〇〇 函館市の〇〇です。本日のキー局を務めさせていただきます。今日は〇局の参加となります。

(3)挨拶、連絡事項

- ・「では、JARL 渡島桧山支部 支部長から、ご挨拶を頂きます。JH8CBH 佐々木さん、お願いします。」
- ・「引き続いて、役員の方から連絡、ありますでしょうか。」
- ・「みなさんから、の連絡事項など、ありますでしょうか。」

(4)途中からの参加局確認

- ・「現在、JARL 渡島桧山支部ロールコールを開催しております。本日のキー局、こちらは、J〇8〇〇〇です。遅れてきたかなどいらっしゃいましたらコールください。」

(5)時間があるようでしたら、(キー局の判断)

- ・「時間が早いので、参加局お一人お一人に近況をお話してもらおうと思います。最初に J〇8〇〇〇さん、お願いします。「J〇8〇〇〇さんありがとうございました。続いて・・・・・・」

(6)終了

- ・「現在、JARL 渡島檜山支部ロールコールを開催しております。本日のキー局、こちらは、J〇8〇〇です。最後になりますが、遅れてきたかなどいらっしやいましたらコールください。」
- ・「以上を持ちまして、第〇回、JARL 渡島檜山支部 2 mFM ロールコールを終了します。本日のチェックイン局数は、※※局さんでした。次回は、〇月〇日（土）、午後8時からになりますので、来月も、各局様、宜しくお願い致します。」
- ・「J〇8△△△ こちらは、J〇8〇〇〇 さようなら。」以下繰り返し。
- ・「参加局ありがとうございました。こちらは、J〇8〇〇〇 さようなら」

9 ロールコールの記録

ロールコールキー局担当者は、次のことを記録し、常任幹事に引き継ぐ

(1)期日

(2)キー局名

(3)参加者 コールサイン及び氏名 総参加者数

(4)連絡事項

(5)その他特記事項

常任幹事は資料を整理し、必要に応じて支部役員会に報告する。

1 0 司会局（キー局）の輪番について

常任幹事を中心に、前月のロールコール時には、翌月のキー局をお知らせできる体制を取りたい。

1 1 その他

- (1)支部役員については、特段の参加努力をする。
- (2)改善やアイディアについては、常任幹事に申し出、役員会（ML上の会議も含め）で随時協議し、取り入れていく。
- (3)本事業に関するトラブルについては、キー局に責任がいかないように支部として配慮していく。